

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	フォレストキッズ熱田教室（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2025年 9月 25日		～ 2025年 10月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	2025年 9月 25日		～ 2025年 10月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 10月 30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりの特性や発達段階に応じた個別支援を行い、安心して通える環境づくりに努めています。 また、遊びや活動を通じて楽しみながら成長できるプログラムをつくっています。	一人ひとりの得意や苦手、好き・嫌いに着目し、それぞれに合わせた個別支援を行っています。苦手のこと、課題を段階的に提供することで「できた」「たのしい」と前向きな気持ちで取り組めるよう工夫しています。	定期的なアセスメントを行い、成長にあった支援内容を検討します。
2	集団療育を行っております。お友達と関わる中で、社会性やコミュニケーション力を実践的に身につけることができます。順番を待つ、相手の気持ちを考える、協力するなどの対人スキルを、遊びや活動を通して楽しく学べる環境を提供しています。	活動の流れを視覚的に提示したり、始まりと終わりを明確にすることで、不安を減らし安心して集団に参加できるようにしています。また、子どもたちに簡単なお手伝いをお願いするなど、役割や責任感を育む工夫をしています。	社会性や感情のコントロールを育むために、みんなで協力しながら行う遊びや活動を積極的に取り入れています。ルールのある遊びや活動を通じて、相手の気持ちを考えたり、自分の感情を調整する力を育てています。また、自分の考えや頑張ったことを伝える発表の場も設けており、自信や表現力を高めるとともに、他者の話を聞く姿勢も養っています。
3	保護者へのフィードバックや子育て支援の面談を通じて、不安の軽減や家庭での対応方法の提案に努めています。また、ペアレントトレーニングを実施し、子どもの特性理解を深めるとともに、保護者同士が悩みや思いを共有できる交流の場となっています。ご家庭と連携しながら、子ども一人ひとりの成長を共に支えていくことを大切にしています。	療育終了後にフィードバックの時間を設け、子どもの良いところや頑張りを積極的に伝えるよう心がけています。また、保護者にはマジックミラー越しに支援の様子を見ていただき、家庭での関わり方や遊び方のヒントを紹介しています。	ペアレントトレーニングに関しましては、保護者の生活スタイルに配慮し、土曜日、祝日開催やオンライン対応など柔軟な運営体制の整備が必要であるとと考えております。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動支援や、保護者会の開催等による保護者同士の交流の機会がすくないことです。	保護者支援の一環としてペアレント・トレーニング（ペアトレ）を実施していますが、開催が平日に限られているため、仕事や家庭の都合で参加が難しい保護者が多いのが現状です。	今後は、保護者の生活スタイルに配慮し、土曜日、祝日開催やオンライン対応など柔軟な運営体制の整備が必要であるとと考えております。
2	地域の保育園や幼稚園に通う子どもたちとの直接的な交流機会がほとんどないことです。	連携体制や調整の難しさ、安全面への配慮などが要因となっています。	日常的な支援活動の中で公園を利用する際に、地域の子どもたちと自然な形で一緒に遊ぶ場面もあり、そうした偶発的な交流が子どもたちにとって貴重な社会経験となっています。今後は、こうした機会を意識的に活かしながら、無理のない範囲で地域とのつながりを広げていきます。
3	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていることについて、掲示や報告がされていないために、周知されていないことです。	訓練の実施そのものは継続的に行われていても、掲示や報告が不足しているため、安全対策への取り組みが伝わりにくいことがあげられます。	保護者の方も一緒に訓練に参加をしていただくような機会や非常災害の対応について考える機会を作ることや、訓練内容の掲示やSNSでの報告など、情報の発信と共有の工夫を行っていきます。